











〈本体商品の取付情報〉


年式	型式	車種	取付商品のサイズ	本体の取付方法				オプション ※商品別の対応状況他の詳細については、必ず取扱・取付説明書や弊社カタログ、ホームページ等でご確認ください。 ※表示価格は希望小売価格(税別)です。
				取付キット類			注意事項	
				純正部品手配	型番	主な付属品		
H28/3～現在	CBA-WB42S DBA-WB32S	全車種 注1	W2D	KJ-S102DK④	 注2	6,000円	注3,4,5,11	
			2D	KK-S79DE II ⑥	 注6	6,500円	注4,5,7,8,9,10	

- (注1) 全車標準はオーディオレス(ワイド2D窓口に純正ブラケット付)で、車両側のアンテナコネクタはGTコネクタです。
- (注2) KJ-S102DK④にはダイレクト接続コネクタ(20P/5P、ステアリングリモコン用ミニプラグ:KJ-F101SC相当)、アンテナ変換コネクタ(GT)、スポンジテープ、ネジ類等が同梱されています。
- (注3) 純正ブラケットへの組付けは、ブラケットの前から2番目と5番目の穴にN穴で取付けます。
- (注4) 車両側のアンテナプースターとチューナーのインピーダンスアンマッチングによりAMラジオが受信できない場合は、RD-AN40(希望小売価格1,800円、税別)を使用します。
- (注5) 純正ステアリングリモコン付車の場合、純正ステアリングリモコンの使用可否は未調査で不明です。
- (注6) KK-S79DE II ⑥には窓口左右の隙間を埋めるスパーサーブラケット、配線コネクタ(20P)、車速信号他を取出すためのコネクタ(5P)、アンテナ変換コネクタ(GT)、クッション等が同梱されています。
- (注7) 純正ブラケットへの組付けは、上下段共にブラケットの前から3番目と5番目の穴に、トヨタ車用の2、3番ネジ穴(製品肩口から47.5mmと88mmのネジ穴)で取付けます。
- (注8) 1D+1D取付けをする場合は、純正ブラケット(L/R)に下段取付け用の穴あけ加工が各1ヶ所必要となります。
- (注9) ステレオ本体が窓口表面から少し奥まった状態での取付けになります。また、FH-8500DVS/6500DVD等ノーズ部の凸量が少ない商品を取付ける場合は、上下の隙間が目立つ取付けとなり、取付キットに同梱のクッションでは塞ぎきれないため、別途スポンジ等を用意する必要があります。
- (注10) ワイド2D窓口専用パネルを同梱しているFH-4600/3100等の場合、取付キット KJ-S27P④(希望小売価格3,700円、税別)を使用して取付けることも可能です。なお、純正ブラケットへの組付けは、ブラケットの前から2番目と5番目の穴に、本体の前から2番目、3番目のN穴で取付けます(下段側は2番目のN穴のみとなります)。
- (注11) 電源ケーブル、ステアリングリモコンケーブルを同梱しているモデル(AVIC-CW910/RW910等)の場合、取付キット KJ-S27P④(希望小売価格3,700円、税別)も使用可能です。但し、ステアリングリモコンケーブルの接続には配線加工が必要です。なお、KJ-S102DK④同梱のダイレクト接続コネクタを使用する場合には配線加工は不要です。

〔取付キット類の主な付属品の記号〕

	ダイレクト接続コネクタ		アンテナ変換コネクタ(HFC)
	配線コネクタ (3電源、フロントスピーカー、リアスピーカー)		アンテナ変換コネクタ(GT)
	配線コネクタ (3電源、フロントスピーカー)		アンテナ変換コネクタ(CE)
	専用パネル、または窓口左右の隙間を埋めるパネル		ステアリングリモコンケーブル、またはステアリングリモコン用ミニプラグ

〔オプションの記号〕

	オプション欄にこの記号がある場合は、別売のステアリングリモコンアダプター、または別売のステアリングリモコンケーブルを使用することにより、車両側のステアリングリモコン用配線との接続が可能であることを表します。
---	---

※表の見方については、本サイトの取付詳細情報(PDF)の見方、および基礎知識や用語解説などをご確認ください。

[カスタムフィットスピーカーの記号]

◎	取付可 (スピーカーに付属のコネクター使用)	⊕	取付可 (別売の配線コードでの配線が必要)
◇	取付可 (スピーカーに付属のブラケット等使用)	⊗	取付可 (別売の「スピーカー取付キット」を使用し、 別売の配線コードでの配線が必要)
□	取付可 (別売の「スピーカー取付キット」使用)	⊞	取付可 (別売の「インナーバッフル」を使用し、 別売の配線コードでの配線が必要)
回	取付可 (別売の「インナーバッフル」使用)	×	取付不可
⊙	取付可 (配線加工が必要)	空欄	非適合、または未調査で取付可否不明
◆	取付可 (スピーカーに付属のブラケット等を使用し、 配線加工が必要)		

[ボックスタイプ/ユニットタイプスピーカーの記号]

◎	取付可	▲	取付可 (別売の「スパーサー」使用で、鉄板加工が必要)
●	取付可 (鉄板加工が必要)	×	取付不可
△	取付可 (別売の「スパーサー」使用)	空欄	非適合、または未調査で取付可否不明

[サテライトスピーカーの記号]

○	取付可	(×)	取付不可 (サードシート未使用時に限り取付可)
		×	取付不可
△	条件付きで取付可 (注記参照)	空欄	非適合、または未調査で取付可否不明

※表の見方については、本サイトの取付詳細情報 (PDF) の見方、および基礎知識や用語解説などをご確認ください。